

平成30(2018)年度 日本学生支援機構「第一種」奨学金**業績優秀者返還免除推薦者の募集について**

日本学生支援機構から、大学院で「第一種」奨学生に採用され、今年度中に貸与が終了する方を対象に、「特に優れた業績による返還免除制度」の推薦依頼がありました。この制度は、貸与を受けた当該課程において特に優れた業績をあげた者であると日本学生支援機構が認定した場合、貸与を受けた奨学金の全額または半額の返還が免除される制度です。返還免除希望者は下記により申請してください。

記

1 申請資格

次の①②③の条件をすべて満たす者

- ① 大学院「第一種」奨学金採用者で、2019年3月までに貸与が終了する者。2018年度内の退学・貸与辞退等により貸与が終了した（する）者も含まれます。
- ② 貸与終了時に在学している課程で特に優れた業績をあげた者。
- ③ 返還誓約書を提出済の者。

※貸与が終了した年度に限り申請できます。

2 本学への推薦依頼数

修士課程 33名 博士後期課程 2名 [1名(平成29年度以前進学者) 1名(平成30年度進学者)]

(2018年12月時点)

3 選考対象となる業績および選考方法

以下の項目について、在籍している課程における教育研究活動等または専攻分野に関連した学外における教育研究活動において優れた業績をあげた者の中から研究科長会議で返還免除候補者を選考し、日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考委員会において審議した上、推薦候補者を決定します。

- (1) 学位論文、その他の研究論文(学位論文、関連した研究内容の学会での発表、学術雑誌への掲載・表彰等)
- (2) 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究成果(経済学研究科(夜間・MAプログラム)及び国際日本学インスティテュート及び国際政治学専攻の「リサーチペーパー」、公共政策研究科の「政策研究論文」、日本文学専攻の「文芸創作」「研究副論文」が該当します。)
- (3) 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果
- (4) (専攻分野に関連した) 著書、データベース、その他の著作物(上記(1)および(2)に掲げるものを除く)
- (5) 発明(教育研究活動の成果としての特許・実用新案等)
- (6) 授業科目の成績
- (7) 研究又は教育に係る補助業務の実績(R.A.、T.A.等による補助業務)
- (8) (専攻分野に関連した) 音楽、演劇、美術、その他芸術の発表会における成績(教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な発表会等)
- (9) (専攻分野に関連した) スポーツの競技会における成績(教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な競技会等での結果)
- (10) (専攻分野に関連した) ボランティア活動、その他の社会貢献活動の実績(教育研究活動の成果として、専攻分野に関連したボランティア活動等が社会的評価を受ける等、公益の増進に寄与した研究業績)

4 申請書類

返還免除希望者は以下の書類を、「**本書1部、コピー1部**」の計**2部**提出してください。

- (1) 「平成30年度 業績優秀者返還免除申請書」(様式1-1、表裏)・・・大学院 HP (<http://www.hosei.ac.jp/gs/>) から Excel ファイルを各自ダウンロードしてください。
※必ず両面印刷にすること。
- (2) 業績一覧表(様式1-2、表裏)・・・配布方法は上記(1)に同じ。〔博士課程〕〔修士課程・専門職学位課程〕の2種類があります。ご自身が在籍する課程用のものを各自でダウンロードしてください。
※必ず両面印刷にすること。
- (3) 「指導教員等の推薦理由」(様式1-3、片面)・・・配布方法は上記(1)に同じ。片面印刷。
- (4) 大学院における成績証明書(現課程のもの、原本、最新のもの)
- (5) 申請者の業績を証明する書類(下記6参照)

5 「業績優秀者返還免除申請書」「業績一覧表」「指導教員等の推薦理由」作成要領等

- (1) 「業績優秀者返還免除申請書」(様式1-1、表・裏)

記入例1を参考に、以下の点に注意して記入してください。他の用紙の貼り付け、別紙の添付は認められていません。

様式1-1表	日付	書類提出時の日付を和暦で記入してください。
	氏名	氏名は必ず直筆で記入してください。 印鑑は認印で構いませんが、シャチハタ等のスタンプ印は不可です。
	大学院名	「法政大学大学院」と記入してください。
	研究科名・専攻名	専攻がある場合は、必ず専攻名も記入してください。
	奨学生番号	奨学生証等で確認し、「6」からはじまる11桁の番号を記入してください。
	現住所	現在あなたが大学に登録している住所・電話番号を記入してください。
	大学院における研究課題等	ご自身の研究テーマを「題目」欄に、その概要を「概要」欄に記入してください。
様式1-1裏	教育研究活動等の業績	あなたが「特に優れている」と思われる項目の数字に○を付けてください。 ※○を付けた項目について、それを証明する資料を必ず添付しなければなりません。
	特に優れた業績の要旨	「教育研究活動等の業績」で丸を付けた項目について、説明してください。 ※必ずこの用紙に記入してください。別紙参照は認められません。 ※ここに記入した内容については、それを証明する書類を添付する必要があります。 記入例1 を参考に、箇条書き等(記入例1 様式1-1裏)で見やすくし、その業績を証明する添付資料と対応する番号を付して、第三者がわかるように記入してください。
	返還誓約書の提出について	必ずいずれかの口にレ点を記入してください。※返還誓約書の提出は必須です。
	口座振替(リレー口座)加入申込の手続きについて	必ずいずれかの口にレ点を記入してください。※リレー口座への加入手続は必須です。

- (2) 「業績一覧表」(様式1-2、表・裏)

〔博士課程〕〔修士課程・専門職学位課程〕の2種類あります。ご自身が在籍する課程のものを使用してください。

記入例2を参考に、記入してください。

- (3) 「指導教員等の推薦理由」(様式1-3)

①あらかじめ指導教員に依頼し、申請書と一緒に提出してください。指導教員が出張等で不在の場合でも、締切日の延長はできません。

②指導教員等の「職名」については「法政大学〇〇学部教授」等と記入していただいでください。

③指導教員名は直筆で記入いただき、印鑑を押印(シャチハタ等のスタンプ印は不可)していただいでください。

④推薦理由をPCソフト等で作成する場合、下記(1)(2)いずれかの方法でご対応いただいでください。

※様式1-3に直接他の紙を貼り付けた状態での提出が認められていないための対応です。

〈1〉様式1-3にPCソフト等で作成した推薦理由を、直接印刷する。

〈2〉様式1-3に、下記加工を施す。

[1]様式1-3の推薦理由記入欄に、PCソフト等で作成した文書を印刷して切り取り、貼り付ける。

[2]PCソフト文書を貼り付けた様式1-3を、コピーする。

[3]様式 1-3 のコピーしたものを提出用紙とし、指導教員に氏名の記入と押印をいただく。

⑤推薦理由を申請者本人に開示しなくても提出できるよう、別用紙になっています。必要に応じて、指導教員に「厳封して提出することが可能」であることを伝えてください。

6 業績を証明する書類について

(1) 下記 2 つの条件を満たさなければ、「業績を証明する書類」として添付できませんので注意してください。

条件 1. 奨学金貸与期間中における業績であることが、客観的に分かること。

年月日とあなたの名前がわかるように、必ずマーカーで印を付けてください。

※貸与期間以外（修士学生は学部、博士学生は学部・修士）の実績は、認められません。

条件 2. 専攻分野に関連した教育研究活動の成果であること。「音楽、演劇、美術その他芸術」「スポーツの競技会」「ボランティア活動」等での業績は、特に注意してください。

(2) 提出された書類は一切返却できません。

(3) 「業績一覧表」（様式 1-2 表・裏）を作成し、その**資料番号と同じ番号を各該当書類の右肩に記入**してください。

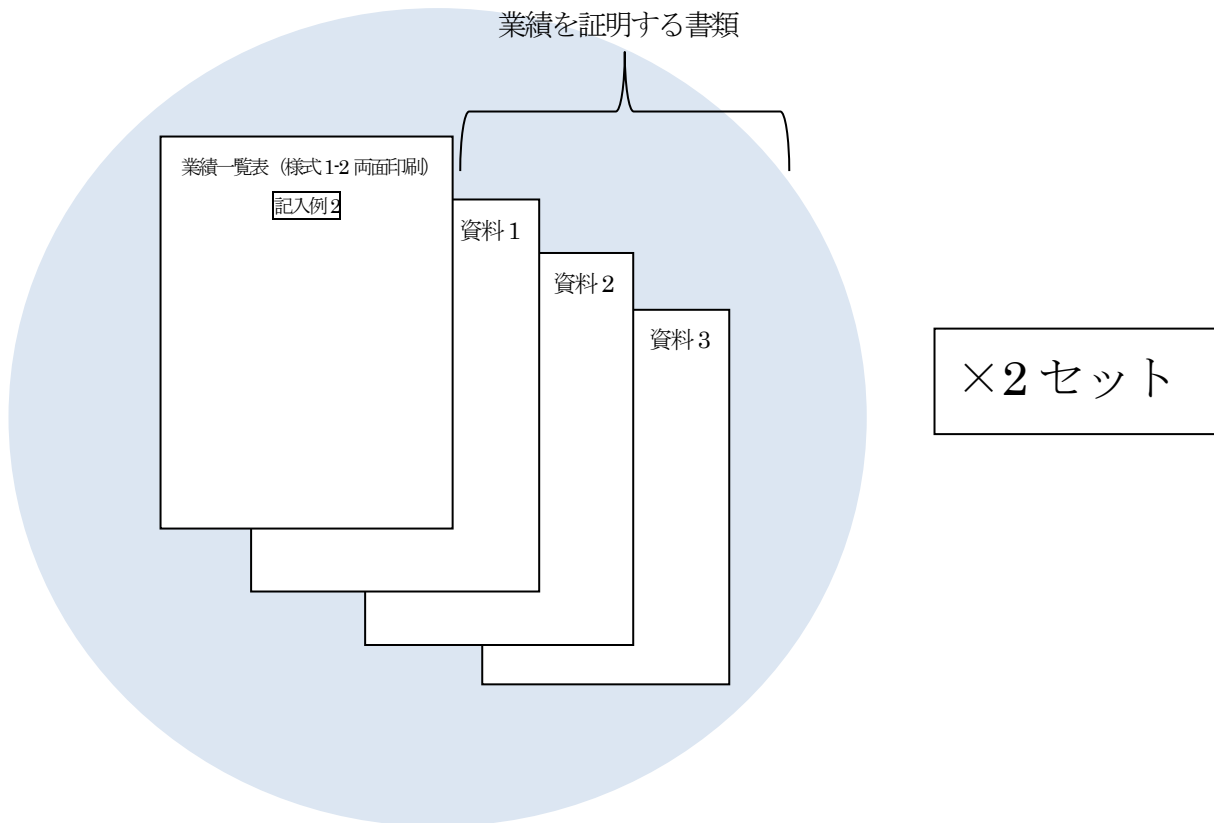
(4) 「審査中の論文や印刷中の著書」等も対象になりますが、必ずその旨（印刷中等）を記入してください。修士・博士論文作成途中の場合も同様です。

(5) 「教育研究活動等の業績」項目 1. ～ 4. で冊子等を提出する場合は、ご自身が掲載したことがわかる部分（表紙・目次・本文等）をコピーして提出してください。

「教育研究活動等の業績」項目	それを証明する書類等（例）
1. 学位論文その他の研究論文	<ul style="list-style-type: none"> • 学位論文 表紙（タイトル、本人氏名、指導教員名） 内容（概要又はアブストラクト等） • 学術論文 表紙（雑誌名、発行巻数等のわかるもの）、目次、内容等のコピー。 投稿中論文の場合は受理証明書などのコピー。 • 学会発表 プログラムの表紙（ネット登録の場合も、日時・学会名、開催場所のわかるもの）、目次、内容（概要、アブストラクト等プログラムに掲載されている部分）等のコピー。 今後予定されている学会等の場合は、エントリー通知や学会レジユメのコピー。 • 学会での表彰 年月日がわかる表彰状等のコピー。
2. 大学院設置基準第 16 条に定める特定の課題についての研究の成果	経済学研究科（夜間）及び国際日本学インスティテュート及び国際政治学専攻の「リサーチペーパー」、政策科学研究科の「政策研究論文」、日本文学専攻の「文芸創作」「研究副論文」
3. 大学院設置基準第 16 条の 2 に定める試験及び審査の結果	• 成績証明書
4. （専攻分野に関連した）著書、データベースその他の著作物（1 及び 2 に掲げるものを除く）	• 表紙、目次、内容
5. 発明	• 出願資料、登録ナンバー等
6. 授業科目の成績	• 成績証明書 のコピー
7. 研究又は教育に係る補助業務の実績	• TA または R.A. 勤務届等の直近月分のコピー
8. （専攻分野に関連した）音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	• 表彰状等
9. （専攻分野に関連した）スポーツの競技会における成績	• 表彰状等
10. （専攻分野に関連した）ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績（公益の増進に寄与した研究業績）	<ul style="list-style-type: none"> • 新聞記事 • 表彰状等

業績を証明する書類提出時の注意点

①書類は下記の順に並べて提出してください。



- ②書類の右肩に、業績一覧表に記入した資料番号を記入すること。(複数枚の場合は一枚目だけ記入)
- ③複数枚の場合はホッチキス等で書類毎にまとめておいてください。
- ④共同発表、共著の場合は自分の氏名にマーカーを引いておいてください。
- ⑤日付や年度にマーカーを引いておいてください。

7 申請期限

2019年1月21日(月) 17:00

8 返還免除者の決定

各大学からの推薦者について、日本学生支援機構が設置する認定委員会の議を経て、特に優れた業績を挙げた者の認定並びに奨学金の全額免除及び半額免除が決定されます(機構から申請者への最終結果通知は、**2019年6月中旬**を予定)。

9 申請書類配布・提出・問合せ先

市ヶ谷キャンパス 大学院事務部 大学院課 03-5228-0551

大学院事務部 大学院課 政策創造研究科担当 03-3264-6630

大学院事務部デザイン工学研究科担当 03-5228-1429

多摩キャンパス 学生センター 多摩学生生活課 042-783-2152

小金井キャンパス 学生センター 小金井学生生活課 042-387-6011 (※小金井版募集要項をご覧ください。)

※受付時間は、各提出先の窓口取扱い時間となります。

以上